

2面下段右より 代表質問の続き

未来を担う人づくりは

社会性豊かな茨城人を

議員(自県ク) 青少年の規範意識や道徳心、自律心が著しく低下しており、茨城の将来に危機感を抱いている。茨城の未来を担う心豊かな人づくりについて、知事の人生観に基づき基本理念を伺う。

知事 元気で住みよい茨城づくりの基本は「人づくり」にあると考えており、郷土を愛し、人を思いやる心と国際感覚を持ち、主体的に行動できる社会性豊かな茨城人を育てていきたい。失敗を恐れず、若者たちが郷土茨城という素晴らしいキャンパスに立派な絵を描いてくれることを強く期待している。

議員 今後急増が見込まれる痴呆性高齢者への対策は、発症予防、早期発見などの観点が必要であると考えますが、どのように進めるのか。

知事 筑波大学が利根町で実施している医学的実証研究の成果なども活用し、MRIなどによる物忘れ検査事業の実施を検討するとともに、一部医療機関で実施されている物忘れ外来と連携した早期発見や、芸術療法などを取り入れた痴呆予防について、普及・啓発を図っていく。

議員 筑西幹線道路は、北関東自動車道と連絡し、栃木県や埼玉県との交流が

促進されるとともに、常陸那珂港を通して世界ともつながる重要な広域幹線道路であるが、その整備方針と整備見通しについて伺う。

知事 当面は暫定二車線で整備を進めていくが、今後は市町村と一体となり、整備手法や事業主体を工夫しながら早期事業化を図る。具体的には、下館環状道路の用地取得や小貝川新橋の予備設計を進め、鬼怒川新橋については路線測量や地質調査を行い、関城バイパスは平成一七年度の供用に向けて整備を推進する。(ほかに、茨城の財政構造改革、感染症対策、中小企業の自立化支援、茨城農業改革、教員の資質の向上なども質問)

科学技術立県めざす方策は

指針をつくり施策強化



議員(民清ク) 今後の日本の経済成長を牽引し、未来を切り開く鍵は科学技術。本県の恵まれた科学技術の集積を、産業の振興や県民生活の向上に結びつけ

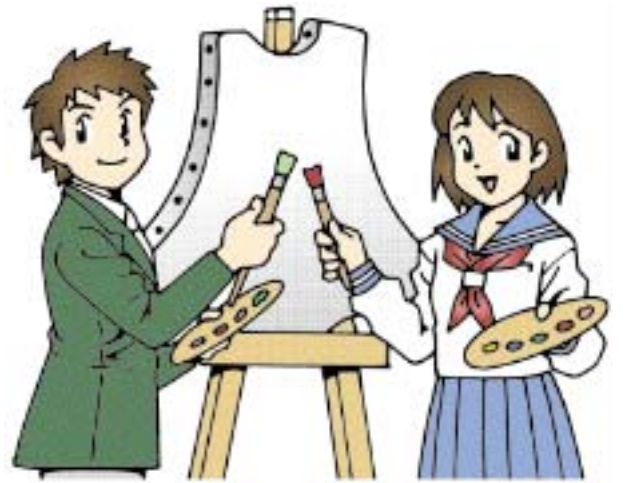
ることが県政の課題。科学技術立県をめざす方策は、

知事 科学技術や産業技術の集積を活用し、知的特区やサイエンスフロントエリア21構想などにより、研究

開発の強化と産業利用の促進を図ることが重要。中長期的かつ分野横断的に科学技術の振興を図るため、本県がめざすべき目標と施策の体系を明らかにした指針づくりを行い、科学技術関連施策全般を強化する。

議員 行財政改革を進めるうえで重要な視点は、コストの高い公立から民間に切り替え、新たな財源を生み出すこと。今後どのように民間委託を推進していくのか。また、地方自治法の改正で民間企業に委託できることになった公の施設の管理運営は、

知事 民間委託の判断基準となるガイドラインを策定し、民間の専門的な技術等を活用した方が効果的、



効率的に目標を達成できる業務を洗い出す。公の施設の管理運営は、施設ごとに点検、見直しを行う。

議員 国は、ひたひたな地区留保地について「原則利用、計画的有効活用」へと方針を転換した。民間活力の導入を大幅に認める方向で土地利用を進めることが必要。県有地は、立地可能な地点から段階的な土地利用を進めるべき。留保地を含めたひたひたな地区全体の土地利用計画の策定など、土地利用の具現化は、

知事 今後、五年度程度を目途に地元市村と地区全体の土地利用計画を策定する。土地利用の具現化には民間活力の積極的な活用が重要。PFIの導入、事業用借地権の設定、弾力的な区画設定などを検討し、土地利用の促進に努める。

(ほかに、男女共同参画社会の推進、結核対策、学校施設の耐震化なども質問)

2面下段左より 一般質問の続き

女性専門外来の設置は

県立中央病院に設置検討

議員(公明) 女性特有の疾患などに総合的に対応できる女性専門外来の設置の必要性を把握し、設置に向けての検討協議を進めていくべきであると考えているが、所見を伺いたい。

保健福祉部長 県内の病院における女性患者のニーズなどを調査のうえ、県立中央病院における設置を検討するとともに、県医師会など関係団体の協力を得ながら、各医療機関における女性専門外来の設置について働きかけたい。

議員 司書教諭の受け持



学校図書館の利用風景

ち時間数や図書整備費の予算化の状況など学校図書館を総点検するためのアンケート

1ト調査を実施し、サービスの充実に向けた検討をする必要があると考えるが、教育長 これまでの図書購入費や図書の整備状況などの調査に加え、今後は、図書の廃棄基準や教科での活用状況なども含めて総合的に調査を行い、課題を把握し、サービスの充実が図られるよう市町村や学校に働きかけた

(ほかに、バリアフリー化の推進、医療事故報告体制の整備なども質問)

精神科の夜間救急体制は

調整進め早期に実施

議員(自民) 地域で生活する精神障害者が増加しているが、本県は精神科の

夜間救急体制が整っておらず、特に措置入院に係る体制の整備が遅れている。夜

間救急体制の確立に向けた今後の取り組みは、保健福祉部長 緊急性の高い措置入院について、当面、夜間窓口を精神保健福祉センター、受け入れ病院を友部病院として、二一時までに通報が

小山ダム完成予想図



あつたケースに対応できるよう関係機関と調整を進め、できる限り早期に実施したい。

議員 県下一となる小山ダム事業の本体工事が完了間近となり、今後の重要課題は地域住民の要望であるダム周辺の環境整備になる。その整備見直しは、土木部長 短期的には、地域振興施設や多目的広場の整備を進め、中長期的には、湖面噴水施設やオートキャンプ場等を計画している。なお、地域のボランティアを募って地域振興施設等の有効利用を図りたい。(ほかに、男女共同参画を推進する拠点の整備、県立医療大学卒業生の県内定着なども質問)

(一般質問は4面に続く)